



花里 陽子 (Yoko HANAZATO)

在宅看護学

学内教授

博士 (介護福祉・ケアマネジメント学)

y-hana@dokkyomed.ac.jp

学歴	2010年3月 桜美林大学大学院老年学研究科老年学専攻博士前期課程修了 2018年3月 国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻博士後期課程修了
担当科目	実践看護学概論Ⅱ, 健康障害看護援助論Ⅷ(在宅看護), 健康看護支援・健康障害看護援助演習Ⅰ・Ⅱ, 健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅵ(在宅), 看護研究Ⅱ, 総合実習 〈大学院看護研究科〉 在宅看護学特論Ⅰ～Ⅴ, 在宅看護学演習Ⅰ・Ⅱ, 在宅看護学実習Ⅰ～Ⅳ
研究テーマ	在宅における終末期ケアに関する研究 医療ニーズの高い療養者・家族の支援に関する研究 新卒・新人訪問看護師の人材育成に関する研究
所属学会	在宅医療学会, 在宅看護学会, 在宅ケア学会, 介護福祉学会, 死の臨床研究会, ホスピスと在宅ケア研究会, 理学療法科学学会

#### 学生へのメッセージ

在宅看護は看護師と保健師両方の資格が活かされる看護活動の場です。広い視野をもって学んで下さい。

#### 最近の活動と研究 (過去5年間)

(論文)

1. 花里陽子, 芦谷知子: 終末期ケアにおける訪問看護師の負担感と関連要因, ホスピスと在宅ケア, 26(3), 329-334, 2018.
2. 花里陽子: 看取りの経験と介護職の変容, 国際医療福祉大学大学院博士論文, 1-74, 2018.
3. 花里陽子, 芦谷知子: 高齢者の在宅看取りに関する実態調査-5年間の訪問看護記録から, 死の臨床研究会, 40(1), 175-178, 2017.
4. 花里陽子, 秋山純和他: 脳血管疾患患者のADLと家族介護不安-中国におけるリハビリテーションセンター入院中の患者家族への調査-, 理学療法科学学会, 31(3), 423-427, 2016.
5. 花里陽子, 芳賀博: 都市部の要介護独居高齢者の主観的健康感に関連する要因, 人間総合科学大学紀要, 26号, 127-132, 2014.

(活動)

1. 2008年～ NPO 法人緩和ケアサポートグループ
2. 2017年～ 訪問看護ステーション研究支援
3. 2018年11月 精神科患者に対する退院支援研修会講師（日本精神科看護協会）